

イネ科 エノコグサ属

エノコグサ (狗尾草)

Setaria viridis (L.) P.Beauv.

自生環境

道ばた、空き地、河川敷など

原産地

日本在来

生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

身近な場所にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

特徴

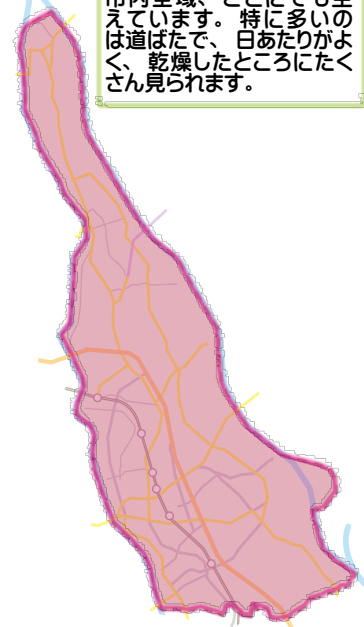
☆ 道ばたや空き地、河川敷など、日あたりがよく乾燥した場所に多く見られます。草丈は数十 cm 程度ですが、乾燥の著しい場所では 10cm にも満たない大きさで穂を出している姿も見かけます。

☆ 穂は剛毛が多く、その色は緑色です。時に紫がかった色の剛毛をつける株もあり、これはムラサキエノコグサと呼ばれます。穂は直立し、ほとんど垂れ下がらない傾向があります。

☆ エノコグサは雑穀のアワの原種と考えられています。剛毛が多く、食べるツブツブの部分(小穂)も小さいため、アワほど美味ではありませんが、炒めると香ばしく、食べることは可能です。

市内の分布状況

市内全域、どこにでも生えています。特に多いのは道ばたで、日あたりがよく、乾燥したところにたくさん見られます。



二又、三又の穂

エノコグサの穂は、ふつう枝分かれせずに1本のふさふさとしたしっぽのように見えます。ところが、何らかの理由で途中から枝分かれして、二又や三又の穂ができることもあります。ときに四又、五又…と、数多く枝分かれすることもあります。4つ葉のクローバーと同じような感覚で、こういう穂を探してみるのも面白いです。



外側の皮は先まで覆うためむけて見ることではない

穂はあまり垂れない



穂の剛毛は紫がかった色

品種

ムラサキ
エノコグサ

穂の枝分かれいろいろ



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

